

## アクリル 10名の解雇

# ダウ・ケミカルは社会的責任を果たせ

支援共闘会議ニュース



東京天王洲セントラルタワー前（日本アクリル化学/ダウケミカル日本の本社前での宣伝行動）

### 多国籍企業ダウ・ケミカルの横暴は許せない！

## 提訴から2年

### 用意周到な工場閉鎖そして解雇、会社解散

----- 仮処分決定は誤り-----

#### 事前協議約款

##### 事前協議決定約款に違反

会社は労働組合に必要な資料を開示せず、説明や協議も不十分なまま労使の事前協議での決定もないまま、会社と組合双方で締結した事前協議決定約款に違反する不誠実な対応であったことを仮処分では主張しましたが、仮処分の決定は、労使共同の協議決定と明記されているにも関わらず「誠意をもって協議すればいい」と誤った判断を裁判所はしています。

#### 刑法にかかわる

##### 組合事務所の使用妨害

会社は、工場解体と共に、組合事務所の電気及び水道を遮断し、NTT回線を解体業者が誤って切断したと報告ことを謝罪しながらも、組合が復旧を求

めても、いまだに復旧はされていません。そして組合の掲示板2枚は無断で撤去・廃棄し、組合事務所のエアコンもフロンガスを抜き取る為との理由で、無断で組合事務所に侵入し持ち去っています。刑法にも違反する行為であり許されるものではありません。会社は謝罪のみで、その責任はいまだに取っていません。

#### 設備投資33億円は

##### 工場閉鎖の口実づくり

会社の安全と増産の為の投資金額33億円は、投資額を少しでも多くし、工場閉鎖が優位であるかのように見せかけるための虚偽の投資額であり、会社の裁判所提出書面からでも、設備の見積もりが水増しされています。

裁判所の公正な判決と同時に親会社（ダウ・ケミカル）としての社会的責任を果たすよう強く求めます。

### アメリカの多国籍企業

#### ダウ・ケミカルを告発!!

-----責任を果たせ-----

◇猛毒ダイオキシン「エージェント・オレンジ」を製造提供し、ダウ・ケミカル等の化学会社19社はアメリカ軍の戦争犯罪に加担し「資本は大儲け!!」「後始末せず・責任とらず」被害者を放置!!

現にベトナムでは今も400万人以上の人々が後遺症の病やガンに侵されて生まれてきた子供の多くが奇形変異に苦しんでいます。

ダウ・ケミカルなど化学薬品企業は被害者に補償もせず謝罪も一切行わず、化学兵器を使用しての攻撃についての反省の意思も示そうとはしていません。（米軍参戦兵士の被害者と和解したものの韓国軍の従軍兵士は被害を受けたまま。フランス在住ベトナム女性ガーさん（チャン・ト・ガーさん）はフランスでの裁判に立ちあがっています。

400万人以上の人々が被害に苦しんでいます。ダウ・ケミカル化学はこれに対し、一切の責任をとろうとはしていません。



◇沖縄の土地もダウ・ケミカル等の猛毒材の汚染が判明!!

返還された基地跡地から、ダイオキシン「枯葉剤」を検出・土中のドラム缶には（ダウ・ケミカル）の社名がハッキリと刻印されていました。

普天間など米軍基地はこうした日米安保条約の下で、アメリカの戦争遂行による化学汚染が深刻になっていることを海外ジャーナリストも指摘しています。

コロナ感染拡大のもと傍聴席が減らされていましたが、48席全て使えるようになりました。

2022年11月7日（月）1103号法廷

証人尋問 10時から17時まで行われます。